

めざそう 男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。

市男女共同参画推進室 ☎43・8116

F 43・3168、メール danjo@city.fukutsu.lg.jp

男女共同参画都市宣言記念講演会



▲講師を務める須藤美香さん

県内で3番目に宣言した男女共同参画都市宣言は、市が「ともに歩むまちづく」の基本条例の下、男女共同参画の視点に基づき

平成15年9月20日、旧福岡町時代に行われた「男女共同参画都市宣言」は、福津市に引き継がれ、今年度20周年を迎えました。市では、毎年9月に男女共同参画都市宣言を記念して講演会などの取り組みを行っています。

づくりを進めていくことを、市内外に向けて宣言したものです。今後、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みがより一層必要となってきます。今年度の男女共同参画都市宣言記念講演会では講師に、合同会社 Caravan W/O (Chief Well-being Officer) であり、執筆家でもある須藤美香さんを招きます。講演のタイトルは「自分らしさを始めよう！わたしらしく生きるために必要な3つのスキル」。「自分らしく生きる」とはよく言うけれど、それはつまり

どういうことだろうか」「具体的にどうしたらいいのだろうか」そんな疑問を持っている人に伝える3つのスキル。講師が実際に10年以上の学びと試行錯誤を経てたどり着いた「自分らしく生きるために必要なスキル」を一緒に学んでみませんか。日時 9月30日(土) 午後1時～午後3時 場所 市役所 定員 先着40人 ※要予約 託児 生後5カ月以上の未就学児、一人300円、9月22日(金)までに要予約

福津ライフ No.5 山崎 唯さん



福津市に関わる多様な人たちがつながり合い、新たな可能性を創り出す「キッカケラボ」。ここでは、私たちが目指す「豊かな人生」とそこに至る「きっかけ」について紹介します。 市地域コミュニティ課 ☎62・5017

山崎さんは、自他ともに認める「一流の海狂い」。幼少期から海が大好きで、暇があれば泳いだり潜ったり、海の生き物の観察をしたりして過ごしていました。福津に移り住んだのも海とのつながりがきっかけでした。



夕方になるとこぞって犬の散歩や夕陽を見に出てくる地元の人たちの海への愛情に心地よさを感じ、移住を決めたそうです。新型コロナウイルス感染症の影響もあって本業である整体師の仕事が難しい状況になり「ジタバタあがいても仕方ない、どうせなら好きなことに打ち込んでみよう」と、海好きの友人たちと一緒に「くらげれんごう」を設立。海で遊ぶついでに社会貢献をする「日本一ハードルの低いビーチクリーン」や海を汚染するごみである海洋プラスチックをかわいくアップサイクルする「アクセサリーづくり」など、自分たちが好きで楽しいと感じることを続けて、それが社会のためになり仕事にもつながるといってきな好循環を生み出しています。

9月のイベント案内

- おはなし会**
お日さまのうたサークル
9日(土) 午後3時～午後3時30分
木曜おはなし会0・1・2(2歳児以下)
14日(木) 午前11時～午前11時20分
ふくつ語りの会
16日(土) 午後2時～午後2時30分(幼児～小学校低学年)、午後2時40分～午後3時10分(小学生～大人)
福岡津屋崎子ども劇場おはなしの国
21日(木) 午後3時～午後3時30分
日曜おはなし会(3歳児以上)
毎週日曜日 午後3時～午後3時30分
- ※状況によって開催を取りやめる場合があります



乳幼児の子育て わいわい

①おもちゃ病院

修理してほしいおもちゃはありませんか。おもちゃドクターが診察して修理します。
9月15日(金) 午後1時～午後3時 ※毎月第3金曜日に実施
場 市子育て支援センター「なかよし」
費用 1つにつき100円 ※部品代が別途必要

②育児講座「親子でヨガを楽しもう」

1歳から3歳の子どもと保護者を対象にした、楽しいヨガです。親子のふれあいを楽しみましょう。
10月19日(木) 午前10時～正午
場 市子育て支援センター「なかよし」
講 ヨガインストラクター 池田侑加さん
持 飲み物、ヨガマットかバスタオル 定 先着15組 ※要予約

③育児講座「乳幼児の救命救急」

思わぬ事故から子どもの大切な命を守るために、心肺蘇生法を学びます。
10月28日(土) 午前10時～正午 場 ふくとびあ
講 宗像看護専門学校専任教員 内藤直美さん
定 先着15人 ※要予約 託児 生後5カ月以上の未就学児、1人300円、要予約 託児受付期限 10月20日(金)

②③の受付開始日 9月1日(金)
①②③の問 市子育て支援センター「なかよし」 ☎35・8382

市は、乳幼児の子育てを応援しています。みんなで手を取り合って健やかな子どもを育てましょう。こどもの国ホームページでは市内の子育て施設やサービスなどを紹介しています。

問 市子育て支援センター「なかよし」 ☎35・8382



▲熱心に話を聞く参加者たち

育児講座「こどもが育つときにたいせつなこと」

「福岡市子ども家庭支援センターちあふる」の臨床心理士、曾根崎恭子さんを講師に招き、6月8日に育児講座「こどもが育つときにたいせつなこと」を行いました。子どもは不安なとき、親にくっつくことで安心します。くっついたり離れたりを繰り返し、やがて親から離れて遊べるようになっていくとの話がありました。水や土、自然と触れ合い、五感を使って遊ぶ体験の大切さ、親は我慢しすぎずに困っているときは助けを求めていいことなど、さまざまなことを学びました。

図書館の今月のおすすめ

運命の一冊

一冊の本が、ひよっとしたらあなたの人生を変えるかもしれません。紹介している本以外にも、約20万冊の本がある市立図書館に、運命の一冊を見つけに来ませんか。 問 市立図書館 ☎42・8000

一般書

「地域でできる自殺予防」高橋聡美著 日本医学出版
身近で悩んでいる人がいるとき、どう声掛けをすればいいのか。みんなが地域のゲートキーパーになれるように、その入口に立つための本。

中学・高校生向け

「死にたい、ですか」村上しいこ著 小学館
4年前、由愛の兄はいじめが原因で自殺。崩壊寸前の家族をつなぎとめた由愛の、もがいた末の選択は：自殺遺族の苦悩と葛藤を描きます。

小学生向け

「カラフル」森絵都著 講談社
一度死に、抽選に当たった魂「ぼく」は、3日前に服毒自殺を図った少年・小林真の体を間借りして人生に再挑戦するチャンスを得ました。

DVD

「追憶の森」ガスマン・サント監督 渡辺謙出演 ハピネット
自殺の名所・青木ヶ原の樹海を人生の終着点に決め、来日したアメリカ人アーティストは、出口を求めてさまよう日本人タクミと出会います。